

saikuru

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



がんゲノム外来、
本格始動。

2021.10.01



[9月外来医師一覧表]

新/新規患者 再/再来患者

診療科		月	火	水	木	金	
整形外科(要予約)	新	安藤 卓(第1・2・3・4週) 有村 仁志(第5週)	立石 慶和	大野 貴史(第1・3・5週) 有村 仁志(第2・4週)	上川 将史	平井 奉博	
	再	安樂 喜久	上川 将史(第1・3・5週) 平井 奉博(第2・4週)	安藤 卓(第2・4・5週) 有村 仁志(第1・3週)	後生川 輝(第1・3・5週) 内田 裕己(第2・4週)	立石 慶和(第1・3・5週) 大野 貴史(第2・4週)	
腎臓科	新・再	—	AM:三浦 玲 PM:山村 遼介	江口 剛人	板井 陽平	早田 学	
【透析シャント専門外来】	新・再	副島 一晃	—	—	—	—	
ロボット 専門外来	前立腺・腎	新・再	渡邊 紳一郎	—	—	渡邊 紳一郎(第2週)	
	呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	—	
	総合腫瘍科	新・再	坂本 快郎	—	高橋 英徳	—	
	心臓血管外科	新・再	—	—	—	押富 隆	
泌尿器科(要予約) ※福井医師・三上医師・占部医師・ 富永医師も「ロボット手術」に 対応しております	新・再	渡邊 紳一郎 尾崎 陽二郎(第1・3・5週) 大井田 奈穂(第2・4週)	福井 秀幸	占部 裕巳	三上 洋	富永 成一郎	
【がん薬物療法】	新・再	—	—	—	—	福井 秀幸 町田 二郎	
心臓血管外科	新・再	—	上杉 英之	出田 一郎	押富 隆	佐々 利明(第1・3・5週) 高志 賢太郎(第2・4週)	
【下肢静脈瘤専門外来】	新	担当医(第1・3・5週)	—	—	—	—	
【下肢静脈瘤専門外来】	新・再	—	担当医	—	—	—	
循環器内科	新・再	山田 雅大(第2・4週) 坂本 知浩 劔 卓夫 井上 雅之 根岸 耕大	田中 靖章 奥村 謙 由布 哲夫 市丸 直美	兒玉 和久 岡松 秀治 堀尾 英治 山田 雅大	山室 恵 奥村 謙 吉村 あきの 神波 裕	田口 英詞 古山 准二郎 鈴木 寛人 堀端 洋子	
【デバイス/遠隔モニタリング外来】	再	—	—	—	担当医	—	
【LVAD外来】	再	—	—	兒玉 和久(第2週) 岡松 秀治(第4週)	—	—	
呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	隈元 清仁	—	
呼吸器内科 ※全医師が「COPD専門診療」に 対応しております	新・再	一門 和哉 関戸 祐子 阿南 圭祐	保田 祐子 神宮 直樹 西山 健太	一門 和哉 村中 裕之(第1・3・5週) 飯尾 美和(第2・4週) 中村 和憲	保田 祐子 川村 宏大	坂田 能彦 仁田 脇 辰哉 久永 純平	
【がん薬物療法】	新・再	坂田 能彦	坂田 能彦	川村 宏大 坂田 能彦(第1・3・5週) 神宮 直樹(第2・4週)	神宮 直樹	—	
糖尿病内科	新・再	松尾 靖人	星乃 明彦	松尾 靖人	星乃 明彦	星乃 明彦(第1・3・5週)	
脳神経外科 ※全医師が「未破裂脳動脈瘤 専門診療」に対応しております	新・再	天達 俊博	山城 重雄	山村 理仁	上田 隆太	加治 正知	
脳神経内科	新・再	稲富 雄一郎	米原 敏郎	長尾 洋一郎	永沼 雅基	米原 敏郎	
外科	新・再	藏元 一崇	松本 克孝 稲尾 瞳子	高森 啓史 辛島 龍一	富安 真二郎 伊東山 瑠美	新田 英利	
消化器内科(要予約)	新・再	工藤 康一 古川 歩生 吉田 健一	山邊 聡 近澤 秀人 上原 正義	須古 信一郎 上川 健太郎 AM:前田 大樹 PM:江口 洋之	浦田 淳資 近澤 秀人 糸島 尚	上原 正義 後藤 健太 今村 治男	
総合腫瘍科 ※がんゲノム外来は 2021年9月末まで 院内のみの対応	がん薬物療法	新・再	小田 尚伸 森北 辰馬 高橋 英徳	小田 尚伸 森北 辰馬	小田 尚伸 森北 辰馬	森北 辰馬 坂本 快郎	小田 尚伸 森北 辰馬
	ガンマナイフ	新・再	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明
	リニアク	—	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)
	緩和ケア外来	新・再	担当医	—	担当医	担当医	—
	精神腫瘍外来	新・再	窪 文彦	窪 文彦	—	窪 文彦	窪 文彦
がんゲノム外来	新・再	—	—	—	小田 尚伸	—	

※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

紹介方法

- 01 必要書類等をご郵送ください。
〒861-4193
熊本市南区近見5丁目3番1号
済生会熊本病院 がんゲノムセンター
 - ✓ 済生会熊本病院 がんゲノム外来 診療申込書
※HPよりダウンロードいただけます
 - ✓ 診療情報提供書(様式自由)
 - ✓ 病理診断書、病理組織標本(HE標本)
- 02 必要書類の内容を確認後、済生会熊本病院にて検体の腫瘍細胞割合等を事前に確認させていただきます。
- 03 がん遺伝子パネル検査の適応確認後、済生会熊本病院からご紹介元病院へ「病理組織検体のご準備」と「臨床情報のご提供」についての依頼と、がんゲノム外来の予約を取得させていただきます。
- 04 がんゲノム外来の予約取得後、患者さんへご連絡し、【予約票・同意書・事前調査票・問診票・申込書】を患者さんへ送付いたします。



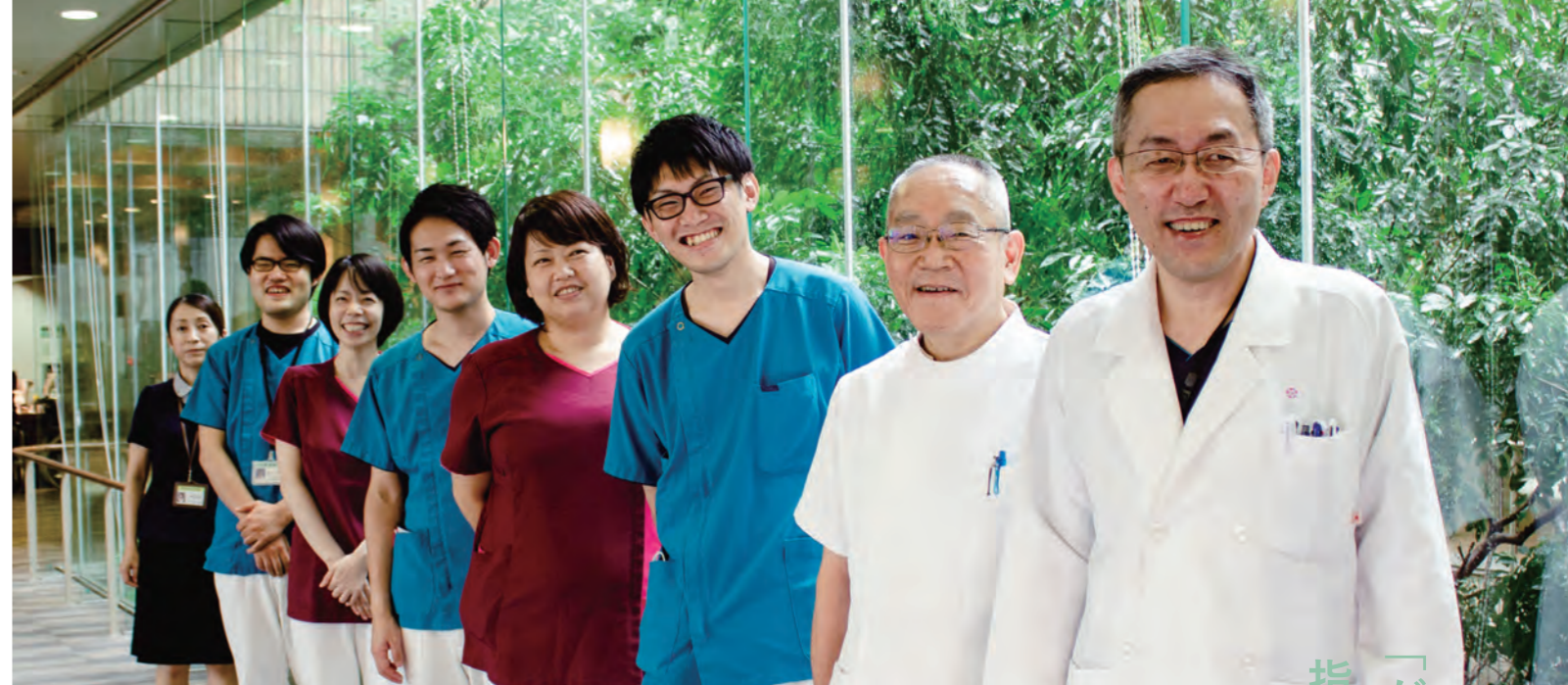
詳細は済生会熊本病院ホームページをご確認ください

済生会熊本病院 がんゲノム外来



<https://sk-kumamoto.jp/consultation/outpatient/genome/>

問い合わせ先 済生会熊本病院 がんゲノムセンター 096-241-0200(直通)



「がんゲノム医療連携病院」に指定されました

当院では、2021年4月に熊本大学病院につづき「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けました。2021年5月よりまずは院内の患者さんを対象にがんゲノム外来を開設し、7月末時点で10名を超える患者さんに対応しています。さらに10月からは、地域の医療機関からの紹介患者さんへも対象を拡大します。4月の指定と同時に、医師・看護師・薬剤師・検査技師・MSW・事務員で構成される「がんゲノム医療推進チーム」を発足し、患者さんを多方面からサポートし安心してご受診いただける体制となっています。

がんゲノム医療とは 〜がん薬物療法との 個別化がすすむ時代〜

がんは日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が亡くなるほど、私たちにとって他人事ではな

い病気です。そんながんが発生するのは、細胞内にある遺伝子情報に傷が入ることが原因です。例えば同じ「胃がん」でも、一人ひとりのがんには個性があります。これまでは同じ臓器の同じ症状の患者さんであれば、同じ治療を行ってきました。しかし、遺伝子を一度に数百個解析できる「がん遺伝子パネル検査」を実施して遺伝子の変異を調べれば、その遺伝子情報に応じて一人ひとりに合った薬や治療を提供できるようになります。これを「がんゲノム医療」と呼び、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療のひとつです。

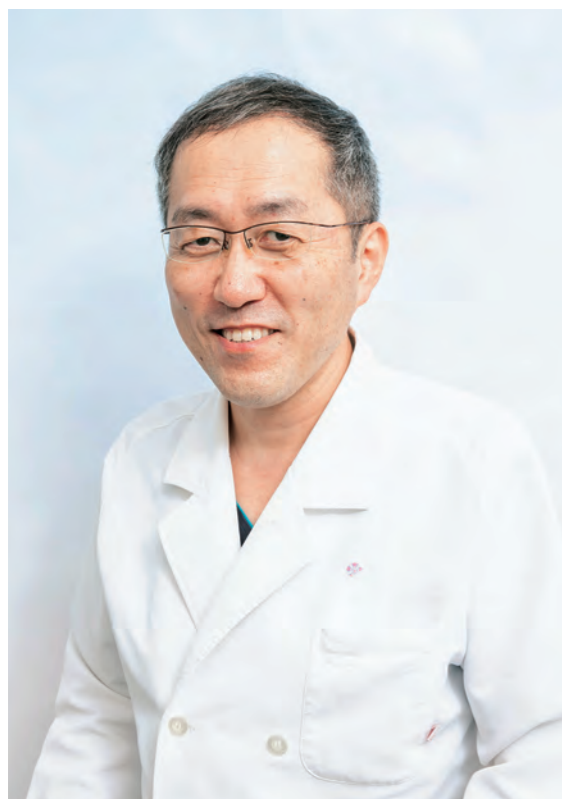
さらに、従来はがん組織を検体として検査を行う必要がありましたが、組織採取が難しい場合などでも血液を検体とする方法が2021年8月から保険適応となりました。がん患者さんにとって、より効果的な治療法を選択するための重要な武器が増えたこととなります。

がんゲノム医療は、患者さん一人ひとりにあった “個別化治療”につながる可能性を持っています

本年4月より当院は県下で2番目のがんゲノム医療連携病院に指定されました。標準的な薬物治療が終了となった進行がんの患者さんに対して、組織検体または末梢血液を用いて網羅的遺伝子パネル検査を行い、さらなる治療の可能性を探ることが可能になりました。がんゲノム医療は検査結果に基づいて治験を含む最新のがん薬物治療の機会を提供することが主な目的ですが、検査の結果で遺伝性腫瘍が疑われる患者さんやそのご家族に対しては、遺伝カウンセリングを受けられる体制も整備しました。がんゲノム医療は患者さんの治療選択肢を広げるとともに、ご家族のがん予防にも貢献できると考えています。

がんゲノムセンター長 兼
総合腫瘍科 がん先端医療推進部長

小田 尚伸



適応

- ★ 原発不明がんの方
- ★ 病理学的検査によって悪性腫瘍と診断され、標準治療が終了になった(あるいは終了が見込まれる)固形がんの方
※血液のがんは除く
- ★ 希少がんの方
※年間発生件数が人口10万人あたり6人未満